

2/14 オープン記念公開講座が行われました



当日は、100人を超える方々にご参加いただきました。足元の悪い中、本当にありがとうございました。院長より、開会のあいさつの後、高橋先生から、脳卒中に関する講義が行われました。

脳卒中はその名の通り、ある日突然起こります。

おかしいな…?



と思う症状がでたら、すぐに病院を受診しましょう！！当院では最新のMRIが導入されたので、より精密な検査ができますよv(^_^)v

ですが、一番大切なのは、脳卒中にならないこと。食事・運動・水分摂取に気を付けて、健康に生きていきましょう！



講義後は、リハビリテーション科・井亦課長と通所リハビリテーションひまわりの理学療法士 濱谷より、腰痛・膝痛などに対する運動指導の時間がありました。簡単にできる運動から、ちょっと難しい運動まで…。狭い空間の中で、一緒に体を動かしていただきました。参加者のみなさん、ご自宅で続けていただけていますか？そして、参加できなかったみなさまへ、ぜひ広めてください。日本一痛みが少ない地区を目指して、頑張りましょう(*^_^*)

【☆参加していただいた皆様にアンケートをお願いしていました☆】

「病気予防の第一は、自分の意志が必要と分かった」「閉じこもりの生活にならないよう気を付けたい」

「定期的な講演会を希望したい」「トレーニングについてもっと知りたい」……………。

たくさんの感想・意見をいただきました。

今後も公開講座を行っていきたいと考えておりますので、今回参加していただいた方はもちろん、参加できなかった皆様にも、参加していただけると嬉しいです。

編集後記：

桜が散り、病院の周りにチューリップが咲き始めました。早いもので、新病院へ移転して2か月が経ちました。

新しくなった病院を皆様にも見ていただこう、ということで公開講座では1階部分の内覧会も行いました。が、新しい仲間が増えたことには気づいていただけただけでしょうか…？(^_^)

前病院で「人懐っこいね～♡」と話題になっていた大きな亀の側に、小さな亀が！！なんと2匹も！！！！

大きな甲羅がお気に入りなのか、小さな亀が大きな亀の背中に乗っている可愛らしい姿も見るができますよ

♪受診の際には、ぜひ水槽で癒されてください。(S)

次号もお楽しみに♪



まるかわ便り

第3号

平成28年2月新病院診療開始

この度、約1年間の建設期間を経て、平成28年2月1日より入善町での診療をスタートすることができました。

一生に一度経験するかどうかの病院の引っ越し、それも町を超えての大移転ということで、準備に際しては、日常業務に加えてスタッフがしっかりと準備をしてくれました。引越しを通して、さらに「チーム力」、そして「和」というものが、より一層高まったのではないかと感じております。

前回の広報誌でお伝えした通り、病室の目の前に訓練室を置いたことで、患者さんを中心として各医療スタッフが集い、患者さん個々の状態をスタッフで情報共有しながら、各専門職種が取り組むことで、一日でも早い回復と退院を可能にするということを目的としています。

また、脳や脳血管のより細かな状態を把握することができ、脳卒中の予防、早期発見を行うため、MRIは3テスラの最新鋭のものを導入しました。

さらに、4月1日から内科医(消化管/肝臓専門医)も常勤となり、内科診療も立ち上げ、胃カメラ・大腸カメラ・腹部エコーの検査等も開始しました。

これにより、脳/神経系疾患から、筋/関節系疾患、内臓疾患までの幅広い診療が可能となり、かかりつけ医機能の充実を図ることができます。

末筆ながら、新天地での門出にあたり、役場の皆様をはじめ、多くの方々のご支援を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、当院の診療を通じて、地域のより多くの皆様に貢献していくこととお約束して、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

平成28年4月吉日

院長 丸川浩平



★NICD 実践編★

広報第2号で、当院の特色の1つ、《NICD:寝たきり・廃用症候群予防のための看護》について紹介しましたが、「NICDってどんなことをしているの?」「どんな効果があるの?」などの疑問があるようです。ということで★実践編★!!内容について紹介します(*^_^*)

①ムーブメントプログラム

身体解放技術の1つで、**バランスボール**を使った運動です。関節可動域の拡大や、歩行や動作を思い出させることを目的として行います。継続して行うことで、体の軸を安定させ、体幹バランスを整え、座位から立位へ、立位から座位へと自立のための行動を思い起こさせます。この運動の特徴は、身体に負担をかけることなく行えるメリットがあります。(介助者への負担も少ないと言われています)



ベッド上で体を動かすだけではなく、時にはバランスボールの上に座って上下運動をしたり、ベッドに腰掛けバランスボールの上に足を置き、足踏み運動をしたりします。



大きなバランスボールは空気を7割くらいに減らして使用します。

②微振動

手のひらや小さく柔らかいボールを使って筋膜のリリースを行います。関節の拘縮・体幹アライメント(ねじれや左右差)の失調症状の改善を図ります。また、うつ伏せの状態で僧帽筋(背中)に微振動をかけることで、排痰を促すこともあります。腹部全体に微振動をかけて、腸の蠕動(ぜんどう)運動を促進させて、排便コントロールも行います。



背中にぶるぶる…。排痰を促します。

お腹にぶるぶる…。排便を促します。



③温浴刺激療法

38度から40度のお風呂で、温熱効果と浮力を利用して脳細胞の活性化や、筋緊張の改善を行います。心肺機能の向上や関節可動域を拡大させる効果もありますが、特に効果的なのが疼痛緩和とリラクゼーションです。また大浴槽で行うことで、脳のα波の出現頻度が高いといわれています。



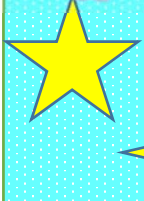
最初は緊張や恐怖心で体が硬くなる患者様もおられますが、時間が経つにつれてリラックスされ笑顔が見られます(*^_^*)
「楽しかった」「気持ちよかった」「また入りたい」という感想が聞かれることもあります。

♪新入職員紹介♪

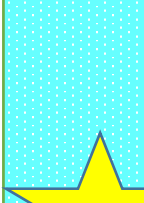
今回は、前号広報発刊後に入職した職員を紹介します!(*^_^*)



外来看護師:高桜 靖子(平成27年7月~)
初めての外来業務のため戸惑うこともありますが、日々楽しく働かせて頂いています。患者様の思いを見逃さぬよう寄り添った看護を実践していきたいと思っております。



外来看護師:西野 里美(平成27年12月~)
丸川病院の特性を学び、患者さん個人に合った、外来看護が提供できるよう、頑張っていきます!!!



病棟介護士:川畑 玲子(平成27年9月~)
患者様にその時その時に合った介護ができるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

ありがとうございました(*^_^*)

内科診療のお知らせ

4月から、内科(消化器内科)の診療を開始しました。担当は「丸川^{ようへい}洋平」先生です。
(月)(火)(水)(金)(土)に胃カメラの予約が可能です。お電話でお問い合わせください。

鼻からの胃カメラも可能です!

